

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28年度:計画作成主体:宮崎中央地域農業再生協議会) (宮崎県)

取組の概要

取組の概要 : 販売額増加に向けた茶産地体制の強化  
 計画作成主体 : 宮崎中央地域農業再生協議会  
 対象品目 : 茶 (産地面積 : 24.9ha)  
 主な取組主体 : (有) 菊田製茶園  
 成果目標 : 総販売額の10%以上の増加  
 助成金の活用状況 : 生産支援事業 (蒸機のリース導入)



宮崎県  
国富町

産地の現状と目標

〈現状: H27年度〉

農家数: 5戸  
 作付面積: 20.7ha  
 生産量: 105t  
 総販売額: 53,586千円

〈目標: H30年度〉

農家数: 5戸  
 作付面積: 24.9ha  
 生産量: 121t  
 総販売額: 61,029千円

推進体制

地域の関係者(県、国富町、宮崎中央農業協同組合)が一体となり、事業を推進した。

ポイント

処理能力の高い蒸機を導入することで、効率的な製造を可能にし、適期摘採による収量・品質の向上を図るとともに、以下の取組により、総販売額の10%以上の増加を目指した。

- 生産力の向上  
 荒茶製造にかかる能力を向上させることにより、更なる効率的な製造を可能にし、適期摘採による収量・品質の向上を図った。
- 販売力の強化  
 安定した生産及び収量・品質の向上により、実需者ニーズに応じた茶を生産することで、契約販売の増加等の優位販売を実現した。
- 人材の育成  
 生産者組織の中で、生産者間の情報共有や技術研修を実施し、担い手やリーダーの育成を図った。

取組成果

作付面積: 20.7ha → 21.5ha  
 生産量: 105t → 105t  
 総販売額: 53,586千円 → 64,638千円

高性能の蒸機の導入により、茶加工の時間短縮等が可能となったことで、適期摘採が図られ、品質が向上した。  
 また、新植・改植を行ったことで目標が達成できた。  
 品質の向上を図ったことにより、有利な販売が可能となり、単価の向上に繋がった。



**総販売額  
約21%増加  
(達成率148.5%)**

～茶の総販売額～

